2025年度競技関係申し合わせ事項

初版 2025年5月1日 県小連競技委員会

赤字は2024年度からの変更点

※この競技関係申し合わせ事項は、岡山県小学生バレーボール連盟が主管または主催する大会のみ適用する。

全国大会や中国大会など他の大会へ参加する場合は、その主催者の大会要項等に従うこと。

- 1. 県小連からの情報収集について
 - ①チーム責任者や指導者は、県小連ホームページ(県小連HP)やチーム宛メール等を確認し情報収集に努めること。
 - ②収集した情報は速やかにチーム関係者全員(指導者、保護者)と共有すること。
- 2. 県大会試合方法について

全試合トーナメント戦を原則とするが参加チーム数などによって実行委員会や常任理事会の承認を得て変更することもある。

- 3. ベンチ入りスタッフおよび選手について
 - ①すべての県大会においてベンチスタッフは4名(監督、コーチ2名、マネージャー) まで、選手は14名までとする。
 - ②県外在住で今年度に「移籍登録」をした選手はベンチ登録選手の3分の1以内とする。 また、コート上には2名以内とする。ただし、県外在住選手でも前年度までに登録して いればこの制限の対象外とする。

なお、監督は試合時に今年度移籍登録選手の番号を審判員と確認しておくこと。

- ③選手は、健康な状態で参加すること。(健康診断書等の提出は不要)
- ④ギプス着用や松葉づえを利用している選手はベンチ入りできない。 なお、指の固定具の場合はベンチ入りを許可するがコートには入れない。
- 4. 大会当日の選手およびベンチスタッフの変更/追加について
 - ①選手の背番号変更のみ「エントリー変更届」を受付で提出することで認める。
 - ②監督不在時は試合前にキャプテンが主審に許可を得ることによりコーチが代行できる。
- 5. 混合部門の参加申し込みおよび試合中のルールについて
 - ①男子及び女子が1名以上で申し込むこと。
 - ②試合中のコート内は常に混合であること。
 - ③混合でなくなった場合は、不法な選手交代として取り扱う。
 - ④セット終了後に判明した場合、そのセットは成立する。
 - ⑤試合終了後に判明した場合、その試合は成立する。
- 6. ベンチの椅子数および得点板の位置について
 - ①全国大会岡山県大会およびECCジュニアカップ、OHK杯新人大会の決勝日は9脚とし、上記大会の予選日および5年生大会、U10交流大会は4脚でも可とする。
 - ②得点板は、従来通り①または④の位置に置く。(主審側)
- 7. 点示用チームプレートについて
 - ①チーム側で用意すること。
 - ② A 4 サイズで白地に黒文字とし、よく見えるように大きな文字サイズを使用すること。
 - ③チームプレートは、破損等防止のためラミネート加工が望ましい。ラミネート加工が困難な場合は、透明なクリアファイルなどに密封してもよい。
 - ④チームプレートは、試合前に記録員へ提出し終了後に回収すること。

- 8. メンバー表、スターティングラインアップシートについて
 - ①チーム側でメンバー表、スターティングラインアップシートを用意すること。
 - ②混合部門に参加するチームは、メンバー表の記入時、男子選手にマーカーを行うこと。 なお、マーカーの色は問わない。
 - ③メンバー表は、予選日と決勝日にそれぞれ受付で提出すること。
- 9. 競技フロアへの入場について
 - ①緊急時を除き役員および大会登録しているベンチスタッフと選手とする。
- 10. 試合中の控え選手の待機場所について
 - ①ベンチに空席がある場合は選手が着席してもよい。 なお、着席しない場合はウォームアップエリアで待機すること。
 - ②選手交代に備える場合は監督席の横に座って待機し交代時は速やかに対応できるように する。ただし、待機できるのはラリー2~3回分とする。

11. 選手の競技服装について

①ユニフォームに関する詳細は県小連HPの「ユニフォーム作製にあたって」「ユニフォーム規定」「ウェア等公認制度について」を遵守すること。 また、新ユニフォームを作製する場合でデザインの判断に迷った場合は作製前に競技委

員長に確認することを推奨する。

- ②混合チームは、だれが見ても一目で男女が識別できるよう違うユニフォームの着用(番号重複不可)、腕章、ソックスの色で識別できるようにすること。 ※県小連では腕章を準備し希望チームへ貸し出す。
- ③ブロック別五年生大会、OHK杯新人大会は、アンダーシャツを着用してもよい。 ただし、着用有無、色、袖丈はチームで統一されていること。
- ④ワイピング用タオルは、動きの邪魔にならないように身につける。

12. ベンチスタッフの服装について

- ①上着は襟付きのものであること。審判服やハーフパンツ等は不可とする。
- ②チームで統一された服装が望ましいが、統一できない場合でも色は同系色にすること。
- ③ベンチスタッフのシャツイン・シャツアウトはチーム判断とする。
- ④アンダーシャツの着用有無を統一すること。色は同系色にすること。
- ⑤小学生は、マネージャーとして登録できる。
 - ※MRSの該当選手を「選手兼マネージャー」にすることで登録可能。
 - ※服装は、トレーニングウェアであれば襟なしやハーフパンツ等でもよい。
- ⑥ウインドブレーカーやベンチコート等の防寒着を着用してもよい。また、防寒着は統一 されていなくてもよい。

ただし、防寒着が統一されていない場合は防寒着の下の服装は上記①~④であることとし、試合前挨拶は防寒着を脱いでおこなうこと。

- ⑦チーム役員章は、左胸に常に見える状態で着用すること。
- ⑧防寒具(帽子、手袋、ネックウォーマー等)の着用はプロトコール開始までとする。
- ⑨怪我等で上記服装にできない場合は、大会役員に許可を得ること。

13. 大会会場での練習について

- ①カベ打ちや観客席に向かってボールを打ってのアタック練習はしないこと。
- ②全チームでの練習が許可されている場合は、コートを占有しての練習をしないこと。
- ③別の練習場所が用意されている場合は必ず指導者が付き添い大会役員からの注意事項を守って使用すること。

14. 試合時での持ち込み物について

- ①ドリンクケース、救急箱、ボール、ボールカゴ、上着入れなど試合に関係するもののみとする。なお、個人の入れ物は個人別でもチームでまとめてもよい。
- ②うちわ類は持ち込んでもよいが、使用はタイムアウト時やセット間のみとする。

15. 試合での持ち込み物の保管について

- ①ドリンクケース、救急箱等をベンチに持ち込む場合は椅子の下または椅子の間に置くこととし、バッグなどの柔らかい入れ物に限る。椅子の下に置けない場合やプラスティック製などの硬い入れ物の場合はウォームアップエリアに置くこと。
- ②ボールカゴ等大きなものはウォームアップエリアまたはゲームエリア外に置くこと。
- ③車輪付きの入れ物は、体育館外で泥や石などの付着物を払い持ち込むこと。 また、フロア内では持って移動すること。

16. テクニカルタイムアウト(TTO)の適用について

- ①TTOは、第1・第2セットは11点目、第3セットは8点目で適用する。
- ②ただし、暑い時期で空調設備のない会場の場合は、当日の気温や熱中症指数などを考慮して第1・第2セットのTTOを7点目と14点目で実施する場合がある。 なお、実施するか否かは当日朝の代表者会議で伝達する。
- ③ T T O の時は、県小連H P の「小学生バレーボール競技規則(2023年度版)」 「令和7年度全国審判委員長会議資料」に記載してある内容を遵守すること。

17. ベンチスタッフのマナーについて

- ①タオルを首にかける、ゲーム中にうちわであおぐ等のないよう気をつけること。
- ②選手への暴言やジャッジへの抗議を行わないこと。

18. 応援マナーについて

- ①大きな音の出る鳴り物(太鼓、ラッパ、大きなメガホン、先割れメガホン)を禁止する。 ②施設の手すり等構造物を叩かないこと。
- ③ペットボトルを使った鳴り物は破損する可能性があるので禁止する。
- ④鳴り物の使用有無にかかわらず審判のホイッスルが聞こえにくいなど試合の進行に影響が出るような応援はしないこと。

また、隣のコートにも影響が出る場合があるので注意すること。

- ⑤審判(線審含む)への抗議、批判は固く禁止する。
- ⑥相手チーム、自チームに限らず選手が委縮してしまうような罵声を出さないこと。
- ⑦上記、応援マナーが守られていないと判断した場合は審判や役員から該当チームのベン チスタッフに対して注意を行う。

注意を受けたベンチスタッフは応援団に注意内容を伝え、応援団はその内容に従うこと。

19. その他

①「競技関係申し合わせ事項」、代表者会議の資料や伝達事項、大会当日の監督・保護者会議の伝達事項および大会役員から状況に応じて発せられる伝達事項は必ずチーム関係者全員で共有し遵守すること。

20. 試合球について

大 会 名	偶数年度		奇数年度	
	男子/混合	女子	男子/混合	女子
全日本大会岡山県大会	ミカサ	モルテン	モルテン	ミカサ
ECCジュニアカップ	ミカサ	モルテン	モルテン	ミカサ
ブロック別五年生大会	モルテン	ミカサ	ミカサ	モルテン
〇HK杯新人大会	モルテン	ミカサ	ミカサ	モルテン